

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校ファッションカレッジ桜丘
設置者名	学校法人桜丘学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
ファッション専門課程	ファッションクリエイティブ科(2年制)	夜・通信	68単位 (1,630時間)	7単位 (210時間)	
	ファッションビジネス科(2年制)	夜・通信	80単位 (1,635単位)	9単位 (135時間)	
	技術科	夜・通信	33単位 (825時間)	6単位 (90時間)	
デジタル専門課程	国際情報ビジネス科(2年制)	夜・通信	66単位 (1,545時間)	9単位 (135時間)	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.f-sakura.ac.jp/information/schedules/curriculum

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校ファッションカレッジ桜丘
設置者名	学校法人桜丘学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.f-sakura.ac.jp/common/pdf/information/board_member2026.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元大学総務担当理事	令和8年5月29日～令和11年5月28日	学校経営
非常勤	会社経営	令和8年5月29日～令和11年5月28日	経営管理
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校ファッションカレッジ桜丘
設置者名	学校法人桜丘学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) ・ファッションクリエイト科(2年制)・ファッションビジネス科(2年制)・技術科(1年制)・国際情報ビジネス科(2年制) 【授業計画(シラバス)の作成】 各授業科目について、学内の会議(教員会議)により授業の方法および内容、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し公表している。 授業計画ガイドラインにおいて、授業科目名、必要単位数(必要時間数)、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項等は必須となっており共通の様式でシラバスの作成を行っている。 【授業計画(シラバス)の公表時期について】 翌年度の授業計画を1月～2月に担当教員が作成し、3月の理事会時の議案で翌年度の事業計画が承認されることにより正式決定する。3月中旬に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。	
授業計画書の公表方法	https://www.f-sakura.ac.jp/information/schedules/syllabus
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 学習意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は履修を認定している。 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価において、GPAなどの客観的な指標を設定し、公表するとともに成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施している。

■採点と評価について

採点と評価の基準については、A・B・C・D・Eの5段階評価とする。
学科により、あるいは出題の難易により得点の集計が極端に上、または下に片寄った場合は、関係者による協議のうえ善処していくものとする。

評価	A	B	C	D	E
理論	90点以上	70点以上	60点以上	50点以上	49点以下
実技	90点以上	80点以上	70点以上	60点以上	59点以下
評価基準	優れている	普通	やや劣る	劣る	不合格

■評価に関する注意事項

(1) 前期評価と後期評価

各科目は、通年実施の科目であっても前期と後期の評価を別々に扱います。

例) 通年実施科目の前期評価が「A」、後期評価が「E」であった場合、両者を連結して後期評価を「D」とせず、後期評価はあくまで「E」とする。

(2) 欠席数と評価

各科目は、前期・後期それぞれについて全授業コマ数の3分の2以上の出席がないと不良科目(E評価)になります。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.f-sakura.ac.jp/common/pdf/information/grade_evaluation.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

■進級・卒業評価判定基準規定

第1条 進級、卒業を決定するための評価判定基準はこの規定による。

第2条 卒業の判定評価基準はⅠ表の通りとする。

Ⅰ表	不良科目数	認定	認定条件
①	1科目	卒業	厳重にいましめて卒業させる A科目を含まない
②	3科目	年度末卒業	年度末まで補充授業等に参加させ、課題を与え、製作物、レポートなど提出の後卒業を認定 A科目を含まない
③	4科目	卒業不可	

第3条 進級の判定評価基準はⅡ表の通りとする。

Ⅰ表	不良科目数	認定	認定条件
①	1科目	進級	厳重にいましめて進級させる A科目を含まない
②	3科目	条件付進級	年度末まで補充授業等に参加させ、課題を与え、製作物、レポートなど提出の後進級を認定
③	4科目	留年	全科目の認定を取り消し、再度同学年を履修させる

※③の場合前期終了時で判定を行った結果、進級を認めがたい場合は進路の変更を含む指導を行い、従わない場合は放校処分とする。※出席率は、全学科時数3分の2以上（遅刻・早退3回で1日欠席とする）

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.f-sakura.ac.jp/common/pdf/information/graduation_certification.pdf

様式第 2 号の 4－②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	専門学校ファッションカレッジ桜丘学校
設置者名	学校法人桜丘学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.f-sakura.ac.jp/information/finance/taisyaku
収支計算書又は損益計算書	https://www.f-sakura.ac.jp/information/finance/syuushi
財産目録	https://www.f-sakura.ac.jp/information/finance/zaisan
事業報告書	https://www.f-sakura.ac.jp/information/report
監事による監査報告（書）	https://www.f-sakura.ac.jp/information/finance/kansa

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政関係		ファッション専門課程	ファッションクリエイト科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	68 単位 (1,700 時間)	41 単位 (650 時間)		6 単位 (315 時間)		21 単位 (735 時間)
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60 人		50 人	2 人	4 人	9 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談や面談を定期的に行い、意欲ある学生の支援、進捗遅延者の追加指導などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23 人 (100%)	12 人 (52%)	8 人 (35%)	3 人 (13%)
（主な就職、業界等） 光和衣料、マッシュグループ、ピーアンドエム、クラスカ			
（就職指導内容） 企業研究、キャリアデザインの指導、個別相談による就職支援、校内企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング検定、パーソナルカラー検定、洋裁技術検定、フォーマルスペシャリスト検定、ファッション販売能力検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53 人	5 人	9.43%
(中途退学の主な理由)		
病気療養、欠席過多で通学出来ない等		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
個人面談の実施		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政関係		ファッション専門課程	ファッションビジネス科		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	80 単位 (1,700 時間)	60 単位 (980 時間)		15 単位 (540 時間)		5 単位 (180 時間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60 人		28 人	0 人	2 人	10 人	12 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談や面談を定期的に行い、意欲ある学生の支援、進捗遅延者の追加指導などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	0 人 (0%)	12 人 (60%)	8 人 (40%)
（主な就職、業界等） タカキュー、コム・デ・ギャルソン、キャン、ピーアンドエム、ジョイックスコーポレーション、アダプトリテリング等			
（就職指導内容） 企業研究、キャリアデザインの指導、個別相談による就職支援、校内企業説明会等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、フォーマルスペシャリスト検定、パーソナルカラー検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	0 人	0.00%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
服飾・家政関係		ファッション専門課程	技術科					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
1 年	昼	33 単位 (850 時間)	12 単位 (180 時 間)		9 単位 (250 時 間)		12 単位 (420 時 間)	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10 人		12 人	0 人	1 人	7 人	8 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談や面談を定期的に行い、意欲ある学生の支援、進捗遅延者の追加指導などを行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6 人 (100%)	0 人 (0%)	5 人 (83%)	1 人 (17%)
（主な就職、業界等） メルローズ、ツヅキ、シュガーマトリックス、水野シナリー等			
（就職指導内容） 企業研究、キャリアデザインの指導、個別相談による就職支援、校内企業説明会等			

(主な学修成果（資格・検定等）) ファッション販売能力検定、ファッションビジネス能力検定、フォーマルスペシャリスト検定、パーソナルカラー検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	0 人	0.00%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
服飾・家政関係		デジタル専門課程	国際情報ビジネス科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	66 単位 (1,700 時間)	33 単位 (495 時間)		21 単位 (830 時間)		12 単位 (375 時間)
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		87 人	87 人	2 人	11 人	13 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 担任教員による相談や面談を定期的に行い、意欲ある学生の支援、進捗遅延者の追加指導などを行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	3人 (8%)	10人 (28%)	23人 (64%)
(主な就職、業界等) オフィスクライン、イーグスリテイリング、日本グローバルサービス、ワールドレストランサービス等			

(就職指導内容) 企業研究、キャリアデザインの指導、個別相談による就職支援、校内企業説明会等
(主な学修成果(資格・検定等)) ネットショップ実務士検定、日本語能力検定(JLPT)
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
72 人	3 人	4.16%
(中途退学の主な理由) 進路変更、家庭の事情による帰国、病気治療のため帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッションクリエイト科 (2 年制)	140,000 円	560,000 円	430,000 円	
ファッションビジネス科 (2 年制)	140,000 円	560,000 円	430,000 円	
技術科 (1 年生)	140,000 円	560,000 円	380,000 円	内部進学者は入学金免除
国際情報ビジネス科 (2 年制)	100,000 円	530,000 円	260,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.f-sakura.ac.jp/information/self-evaluation/		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価を行う。 評価内容は理事会、学校運営委員会等において報告検討される。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
民間企業役員	2025 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	関係企業委員
元高等学校教員	2025 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	学識経験者
元専門学校校長	2025 年 4 月 1 日～ 2027 年 3 月 31 日	業界団体会員
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.f-sakura.ac.jp/information/evaluation/		
(備考)		
第三者評価は未実施のため学校関係者評価を記載		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.f-sakura.ac.jp/>